



明治学院の歴史Ⅱ

明治学院人物列伝 Who am I ?

2020 年度 1 年ガイダンス

2020/7/22





I Who am I ?

私は

[

] です

「私」の略歴

宣教師

神学者

- 1845 年 アメリカニュージャージー州の牧師館で誕生。スコットランド系アメリカ人。
- 1865 年 プリンストン大学卒業後、ウォール街の証券会社や
- 1873 年 アメリカ合衆国長老教会宣教師として来日
- 1877 年 東京一致神学校開学、教授に就任
- 1880 年 築地大学校筆頭教授を兼任
- 1884 年 プリンストン大学から名誉神学博士号を授与
- 1887 年 明治学院創立に尽力
- 1890 年 インブリー事件で重傷を負う
- 1919 年 明治学院神学部教授辞任、名誉教授となる
- 1928 年 シカゴ郊外の病院で死去。享年 82 歳

Hint 1

1875 年 (明治 8 年) 9 月 26 日に初来日しました。

Hint 2

東京一致神学校開学に尽力し、築地大学校、明治学院で教授として神学を教えました。

Hint 3

1890 年、第一高等中学校と明治学院の野球試合中、遅れて応援に駆けつけた「私」は、一高生に襲撃され、重傷を負いました。

Hint 4

「私」が日本に滞在していた宣教師館は、いまでも明治学院キャンパス内に現存しています。

「私」を知るKeyword

- ・ 米国長老派教会
- ・ 日本基督一致教会
- ・ 『日本の花嫁』
- ・ 東京一致神学校
- ・ 田村直臣
- ・ ノルマントン号事件
- ・ 第一高等中学校
- ・ インブリー事件
- ・ 野球
- ・ 白金倶楽部
- ・ 中島久万吉

MEMO →

安政の五カ国条約締結よりキリスト教の日本伝道が始まった。明治八年に来日した米国長老教会の宣教師 W. インブリーはその豊かな才能により、教育の分野のほか政治や外交の分野にも多くの足跡を残した。彼の活動を通じ幕末から明治期にわたる「日本の近代化と宣教師」の関係を、条約改正・日露戦争など、今まで検討されなかった政治外交面から解明。

近代日本の外交と宣教師



中島耕二著
吉川弘文館

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)
[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

慶應義塾大学、東京慈恵会医科大学、自由学園、東京海洋大学、東京女子大学、東京大学、日本女子大学、明治学院大学、立教大学、早稲田大学。時代を証言する貴重な財産、懐かしき日のキャンパス、名建築の数々。専門家と見に行く、建築ガイド。

学び舎拝見



内田青蔵文 小野吉彦写真
河出書房新社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)
[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)
[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校 図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

「私」を知る一冊

明治初期に野球がわが国に伝来して一三〇年あまり。以来、日本の野球は数多くの名選手たちが幾多の名勝負、名場面を繰り広げ、発展してきました。本書では野球伝来から現在まで日本野球史に欠かせない出来事を年代ごとに、見出しと写真、記事で構成。

歴史ポケットスポーツ新聞 野球



石川哲也著
大空出版

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

病に伏した子規は目に映る景色で五感を鍛え、最期まで句や歌を作り続けた。幕末の松山から東京まで足跡を丹念に辿り、日常生活の中での姿を描き出す新しい正岡子規伝。

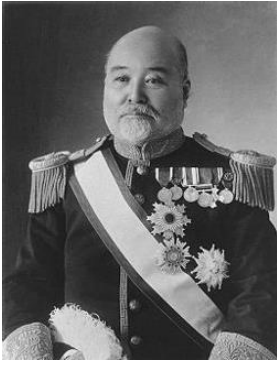
[インブリー事件と、明治学院創立一五〇周年記念試合の記述あり]

子規の音



森まゆみ著
新潮社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)
[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)



2 Who am I ?

私は

[

] です

「私」の略歴

官僚 政治家

- 1854年 江戸芝中門前町（現在の東京都港区芝大門）にて誕生
- 1865年 横浜へボン塾に11歳で入塾
- 1867年 留学のため渡米するが騙され、オークランドで奴隷労働しながら勉強する。
- 1873年 森有礼の口利きで文部省に入省。各学校で英語教師もつとめる
- 1892年 日本銀行に入行
- 1905年 貴族院議員となる
- 1913年 第一次山本内閣の大蔵大臣となる
- 1921年 原総理暗殺により後継の内閣総理大臣に就任
- 1924年 加藤高明内閣の農商務大臣に就任
- 1936年 2月26日赤坂の私邸で叛乱軍に暗殺される（2・26事件）。享年83歳

Hint 1

仙台藩の足軽の家の養子となり、ヘボン塾で学んだ後、アメリカに留学しましたが、斡旋者にだまされてアメリカでは奴隷生活をおくりました。

Hint 2

大学予備門（現東京大学）で英語教師や、共立学校（現開成中学高等学校）の初代長をつとめました。

Hint 3

日本銀行総裁などを経て貴族議員となり、大蔵大臣（5回）、農商務大臣、内閣総理大臣（2回）を歴任しました。

Hint 4

1936年（昭和11年）2月26日に、青年将校たちに狙撃され死亡しました（2・26事件）。

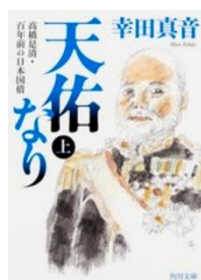
「私」を知るKeyword

- ・ヘボン塾
- ・ユージン・ヴァン・リード
- ・共立学校
- ・秋山真之
- ・特許制度
- ・共立学校
- ・日本銀行
- ・立憲政友会
- ・第二次憲政擁護運動
- ・大蔵大臣
- ・吉野作造
- ・五・一五事件
- ・原敬
- ・二・二六事件

MEMO →

横浜で英語を学び12歳で渡米。契約社会のなか、奴隷として売られる逆境も乗り切った。帰国後は教師、官僚、相場師、銀行員と、官・民でさまざまな職に就く。武器は堪能な英語力と、型破りな発想力、そして持ち前の楽天主義。失敗を繰り返しつつも、現場からの視点を失わない姿勢は、一流の財政センスへ結実してゆく。日本経済を救った男・高橋是清の生涯を克明に描いた第一級の歴史小説。

天佑なり



幸田真音著
KADOKAWA

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

近代国家になり、円が誕生する日本銀行の創立と松方正義。「銀から金」で、円の価値が安定。円の裏付けを金にしたり、やめたり・・・軍事費の増大で、大量にお金を印刷、悪性インフレーションと新円の発行。経済のグローバル化とお金の電子化。

ビジュアル日本のお金の歴史



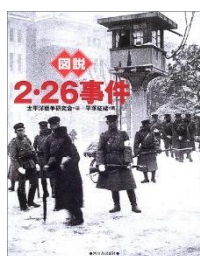
草野正裕著
ゆまに書房

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

「私」を知る一冊

政府要人の鮮血に染まる白銀の東京。「昭和維新」を掲げる青年将校たちが千五百名余の兵士を率いて首相官邸や警視庁・政府中枢機関を占拠、首相以下政府要人を続々と襲撃して殺害！帝都東京を震撼させた未曾有のクーデター事件の全経過と謎の真相。

図説 2・26事件



幸田真音著
KADOKAWA

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

生まれて四日にして仙台藩士の家に里子に出され、十四歳にして海外を放浪。帰国後、大蔵省に出仕するも失職と復職を繰り返し、やがて宮仕えに飽きたらず、銅山経営のため南米ペルーに渡るが……。日本財政の守護神と称えられた明治人の、破天荒な生き様と足跡が語られる。

高橋是清自伝



高橋是清著 上塚司編
中央公論新社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)



3 Who am I ?

私は

[] です

「私」の略歴

オペラ歌手
声楽家

- 1898 年 スコットランド人貿易商の父と琵琶芸者の母の間に大阪で産まれる
- 1909 年 上京し、暁星学園小学部 5 年生に編入するが、素行が悪くて翌年退学
- 1912 年 明治学院普通学部 2 年に編入
- 1915 年 明治学院を退校処分され、京北実業にうつる
- 1918 年 「戸山英二郎」と名乗り、浅草オペラに所属する
- 1920 年 オペラを学ぶためイタリア留学をする
- 1921 年 ロンドンに渡り、初めての独唱会を開催する
- 1930 年 ヴェルディ「椿姫」でオペラデビュー
- 1939 年 「藤原歌劇団」の旗揚げ公演を行い成功を収める
- 1976 年 パーキンソン病の長期闘病の末、永眠。享年 77 歳

Hint 1

スコットランド人と日本人の両親を持ち、複雑な家庭環境下で 11 歳まで未就学児でした。

Hint 2

素行が悪く、暁星小学校、明治学院中等部、早稲田実業学校などを転々としたが、明治学院のことは好きで、後年母校でコンサートを開きました。

Hint 3

浅草オペラで修行を積んだ後、父の遺産で、ミラノやロンドンで歌手として研鑽するも、女癖が悪すぎて現地から追い出されるかのように帰国しました。

Hint 4

藤原歌劇団を結成し、日本オペラの牽引役となりました。

「私」を知るKeyword

- ・松井須磨子
- ・浅草オペラ
- ・三浦環
- ・藤原あき
- ・島田清次郎
- ・山田耕作
- ・軍歌
- ・藤原歌劇団
- ・オペラ=コミック座
- ・ジョゼフ・ローゼンストック
- ・財団法人日本オペラ振興会

MEMO →

明治期わが国に渡来した西洋音楽は昭和期に大きな花を開いた。そのとき登場し、日本の音楽界の基礎を築いた名手たちの足跡をレコードで辿る。

レコードで辿る日本音楽界のバイオニアたち



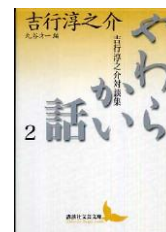
野崎 正俊著
シヨパン

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

対談の名手・吉行淳之介の自由闊達、抱腹絶倒の秀逸対談から16篇をあらたに精選。人生の機微を知る達人たちが語り合う異見、卓見。渡辺淳一と丸谷オ一による吉行淳之介の艶めいたエピソード満載の新対談を収録。[恋愛を食べて生きる“三十四歳”の長老(藤原 義江)]

やわらかい話



吉行 淳之介【著】 / 丸谷 才【編】 講談社

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

「私」を知る一冊

平塚らいてうの運命の出会い、松井須磨子の後 追い自殺、佐藤春夫の「魔女事件」、藤原義江をミラノに追った藤原あき、岡田嘉子が決行した雪の国境越えと銃殺された恋人等。「マツオヒロミ大正恋愛幻想」描き下ろしイラスト 3点掲載 [追うときも別れるときも潔く—藤原あき×藤原義江]

命みじかし恋せよ乙女



中村 圭子編
河出書房新社

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

山田耕筰(1886~1965)作曲家。日本初代の作曲家である山田耕筰への評価は、これまで歌曲に絞られてきた。本書では、作品著作などの資料調査と現地踏査に基づき、異文化圏の芸術受容の前衛という視座から、彼の創作行為、その苦悩と愉悦を再考する。

山田耕筰 作るのではなく生む



後藤暢子著
ミネルヴァ書房

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)



「私」の略歴

小説家

4 Who am I ?

私は

[] です

- 1911年 東京市浅草区に生まれる。両親ともに富士見町教会員
- 1923年 関東大震災で自宅が被災。救援事業で上京した賀川豊彦に影響を受ける
- 1924年 府立第三中学校（現都立両国高校）に入学
- 1927年 賀川豊彦を頼って家出。府立中学退学
- 1929年 明治学院中学部四年に編入
- 1931年 明治学院中学部卒業。以後、しばらく職を転々とする
- 1940年 太宰治の元を訪れ、以後師事する
- 1948年 太宰治の推挽により作品を発表
- 1963年 急性心不全のため死去。享年 53 歳

Hint 1

関東大震災で罹災した際、賀川豊彦に影響を受け、賀川が組織したイエスの友会夏季修養会に参加しました。

Hint 2

子どもの時は戸山教会に通い、17歳で高倉徳太郎から受洗しましたが、成人すると教会から足の遠のきました。

Hint 3

島崎藤村を頼り、日本ペンクラブ事務局の書記となりましたが、ペンクラブの公金を使い込み服役しました。

Hint 4

太宰治には生涯にわたって師事し、公私の区別なく共に過ごしました。師の亡き後は、さらにその師の井伏鱒二と交友関係を結びました。

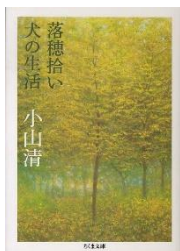
「私」を知るKeyword

- ・ 武者小路実篤
- ・ 賀川豊彦
- ・ 高倉徳太郎
- ・ 島崎藤村
- ・ 中里介山
- ・ 太宰治
- ・ 井伏鱒二
- ・ 亀井勝一郎
- ・ 日本ペンクラブ

MEMO →

「仄聞するところによると、ある老詩人が長い歳月をかけて執筆している日記は嘘の日記だそうである。僕はその話を聞いて、その人の 孤独にふれる思いがした」（落穂拾い）明治の匂いの残る浅草に育ち、純粹無比の作品を遺して短い生涯を終えた小山清。不遇をかこちながら、心あたたまる作品を書き続けた作家の代表作を文庫化。

落穂拾い・犬の生活



小山清著
筑摩書房

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

序章生い立ち／第1章 求道と文学（賀川豊彦との出会い；伊藤伝のもと ほか）／第2章 彷徨と蹉跎（西隣村塾での生活；日本ペンクラブほか）／第3章 修行と太宰治（最後の人・太宰治；太宰治と離れて ほか）／第4章 試練と彼岸（作品集；失われた言葉と伴侶 ほか）

評伝小山清



田中良彦著
朝文社

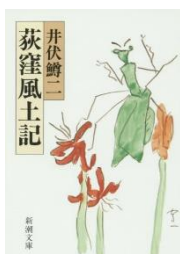
[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

「私」を知る一冊

満州事変、2・26事件、太平洋戦争…時世の大きなうねりの中に、荻窪の風土と市井の変遷を捉え、親交を結んだ土地っ子や隣人、文学青年やつれした知友たちの人生を軽妙な筆で描き出す。名匠が半生の思いをこめた自伝的長編。

荻窪風土記 改版



井伏鱒二
著新潮社

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

鎌倉の片隅でひっそりと営業をしている古本屋「ビブリア古書堂」。その店主は古本屋のイメージに合わない若くきれいな女性だ。古書の知識は並大抵ではない。人に対してと真逆に、本には人一倍の情熱を燃やす彼女のもとには、いわくつきの古書が持ち込まれることも、彼女は古書にまつわる謎と秘密を、まるで見てきたかのように解き明かしていく。

ビブリア古書堂の事件手帖



三上延著
アスキー・メディアワークス

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)



5 Who am I ?

私は

[

]です

「私」の略歴

思想家
文学者

- 1892年 平安北道定州で生まれる。
- 1905年 留学生として渡日
- 1907年 明治学院普通学部 3年次編入
- 1910年 明治学院卒業。定州で五山学校教員
- 1915年 早稲田大学予科入学
- 1917年 朝鮮総督府機関誌毎日申報に『無情』を連載
- 1919年 「二・八独立宣言（朝鮮語版）の起草に加わり、上海に亡命
- 1923年 東亜日報に入社
- 1949年 反民族行為処罰法で収監。その後保釈され、不起訴となる
- 1950年 朝鮮戦争で拉北。凍傷、結核悪化にて死去したとされる

Hint 1

「韓国の夏目漱石」ともいわれ、韓国近代文学の祖といわれています。

Hint 2

明治末期に明治学院普通学部で、金東仁や文一平などの朝鮮人留学生たちと一緒に学びました。

Hint 3

明治学院在学中には、日本語で「愛か」という処女作を書きました。

Hint 4

「二・八独立宣言」の起草に加わり、上海に亡命しました。その後、晩年は親日派と言われました。

「私」を知るKeyword

- ・ 東亜日報
- ・ 大韓民国臨時政府
- ・ 二・八独立宣言
- ・ 山崎俊夫
- ・ バイロン
- ・ ランディス
- ・ 文一平
- ・ 韓国併合
- ・ 朝鮮基督教青年会館
- ・ 親日派

MEMO

韓国併合直後に明治学院、早稲田大学で学び、文筆活動
 を始めた李は、3・1独立運動に積極関与するが挫折。
 『東亜日報』編集局長などを務め、多くの小説を著した。
 日中戦争下、治安維持法で逮捕。以後「香山光郎」と創
 氏改名し日本語小説を発表。終戦後は、「親日」と糾弾
 を受け、朝鮮戦争で北に連行され消息を絶つ。過去の日本を
 見つめつつ、彼の生涯を辿る。

李光洙 韓国近代文学の祖と「親日」の烙印



波田野節子著
 中央公論新社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

日本への留学を果たし、前途有望な英語教師・李亨植。
 裕福な両班の娘・金善馨の個人教授を頼まれ、初めて
 年頃の女性に接し浮き立つ彼の前に、幼い頃思いを寄
 せ合うも消息が途絶え、いまや妓生となった恩師の
 娘・朴英采が現れる。旧弊な社会と新文明の光明の間
 で揺れる日本統治下の若き男女の姿に祖国啓蒙の意
 を重ねて綴られた韓国文学初の近代長編小説。

無情 (ムジョン)



李光洙著 波田野節子訳
 平凡社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校
 図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

「私」を知る一冊

1919年2月8日、帝都・東京で、朝鮮人留学生たち
 によって道破された「2・8朝鮮独立宣言」。その100
 周年を記念したシボゾムの記録と、事前におこなわれた
 連続講座の内容を完全収録。宣言を主導した留学生たち
 のネットワーク、当時の植民地統治のありよう、ジェンダー
 への視点などを考究し、いままできせぬ宣言の力と今後
 の課題を浮き彫りにする。

未完の独立宣言



在日本韓国 YMCA 編
 新教出版社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学
 校 図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

- 1 草創期韓国文学者たちの日本留学 - 韓末の三つの波
- 2 李光洙の日本留学
- 3 洪命憲の日本留学
- 4 金東仁の文学に見る日本との関連様相

韓国近代作家たちの日本留学



波田野節子著
 白帝社

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)



明治学院ゆかりの人々を知る 1冊

明治学院に関連する人物の一冊、まだまだあります！一部ですが紹介しますので、読んでみてください。

① 井深梶之助 (1854-1940)

牧師・明治学院第二代総理

ブラウン塾で学び、東京一致神学校第一期生になり、植村正久、押川方義らと共に学ぶ。ヘボンの後をうけて、明治学院第二代総理となった。



井深梶之助伝

明治学院を興した会津の少年武士
著者：星亮一／出版：平凡社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

② 田川大吉郎 (1869-1947)

新聞記者・社会運動家・衆議院議員

「都新聞」や「台湾新報」で記者として勤め、従軍通訳官も務めた。キリスト者として平和運動にも力を入れる。政治家として活躍する傍ら、明治学院第三代総理となる。



田川大吉郎とその時代

著者：遠藤興一／出版：新教出版社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

③ E.O. ライシャワー (1910-1990)

ハーバード大学教授・元駐日アメリカ大使

宣教師の父が明治学院神学部教授で、明治学院敷地内の宣教師館で生まれ育つ。当時の宣教師館は東村山に移築され「ライシャワー館」として親しまれている。



ライシャワーの名言に学ぶ異文化理解

著者：小笠原はるの著／出版：ゆまに書房

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校 図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

④ 岡田三郎助 (1869-1939)

画家・東京美術学校（現東京芸術大学）教授

1893年明治学院普通学部卒業。黒田清輝らとともに日本の西洋画界の中核となる。フランスに留学からの帰国後東京美術学校（現東京芸術大学）教授となる。



岡田三郎助 1869 - 1939

著者：松本誠一

出版：佐賀県立佐賀城本丸歴史館

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

⑤ 池亨吉 (1873-1954)

作家・革命家

1892年明治学院普通学部卒業。台湾で伝道活動を行った細川瀏は実兄。孫文の秘書として中国革命に傾倒した。小説の執筆や、翻訳なども行い、英語に長けていた。



孫文 近代化の岐路

著者：深町英夫／出版：岩波書店

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](http://meijigakuin.ac.jp)

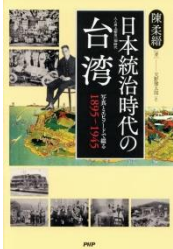
[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校 図書館 \(opac.jp\)](http://opac.jp)

⑥ 李延禧 (1883-1959)

実業家

明治学院普通学部初の留学生。台湾茶の父李春生を祖父に持ち、明治学院卒業後はニューヨーク大学、コロンビア大学で学び、台湾では金融界で活躍した。



日本統治時代の台湾
写真とエピソードで綴る 1895～
1945

著者：陳柔縉／出版：P H P 研究所

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

⑦ 島田清次郎 (1899-1930)

小説家

1912年明治学院中学部に在籍。長編小説『地上』が大ベストセラーとなり一躍有名になったが、天才型で破天荒な性格は生涯変わらず、不遇な晩年となる。



島田清次郎
誰にも愛されなかった男

著者：風野春樹／出版：本の雑誌社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

⑧ 松本亨 (1913-1979)

英語教育者・牧師

1931年明治学院中学部卒業。米国改革派教会宣教師として日本に帰り、明治学院やフェリス女学院教授の傍ら、NHKラジオ「英会話」の講師を21年間つとめる。



松本亨と「英語で考える」
ラジオ英語会話と戦後民主主義

著者：武市一成／出版：彩流社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

⑨ 池部良 (1918-2010)

俳優・随筆家

1935年明治学院中学部卒業。立教大学卒業後東宝に入社。途中兵役に出るも、戦後の日本映画界を牽引した。父は風刺漫画家の池部鈞、従兄に画家の岡本一平がいる。



そよ風ときにはつむじ風

著者：池部良／出版：新潮社

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院中学校・明治学院東村山高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)

⑩ 高見沢俊彦 (1954-)

ミュージシャン・ギタリスト・小説家

1972年明治学院高等学校卒業。明治学院大学中退。(後名誉学士号授与)。1974年アルフィー(現THEALFEE)としてレコードデビュー。



あきらめない夢は終わらない
Endlessdream

著者：高見沢俊彦／出版：幻冬舎

[明治学院大学蔵書検索 OPAC \(meijigakuin.ac.jp\)](#)

[所蔵一覧 明治学院高等学校図書館 \(opac.jp\)](#)